

生活道路のゾーン対策講習会

「ゾーン 30 の推進」が始まり 5 年となりました。その間、生活道路対策における「凸部、狭窄部及び屈曲部の設置に関する技術基準」「通学路点検」「ソフトライジングボラード」「ビッグデータの活用」など新たな制度的枠組み、技術、知見が蓄積されています。また、ゾーン 30 や通学路対策が進むなかで、より実効性のある対策に取り組む事例が生まれてきています。

この講習会では、進展しつつある生活道路対策の最新の動向を紹介するとともに、大幅改訂にされた「改訂 生活道路のゾーン対策マニュアル」の内容について解説します。会員の方々をはじめ、多数の皆様方のご参加をお待ちしております。

■主催：一般社団法人 交通工学研究会

■開催日と会場：(12:00 より受付開始)

日時：平成 29 年 10 月 13 日(金)

会場：建設交流館 グリーンホール 大阪市西区立売堀 2-1-2

■参加費：交通工学研究会 特別会員・正会員 3,780 円、学生会員 1,080 円、一般 4,968 円 (税込)

■テキスト：「改訂 生活道路のゾーン対策マニュアル」をテキストとして使用しますので、既にお持ちの方は必ずご持参ください。購入を希望される方は参加申込書に記入ください。会員価格 3,402 円 定価 3,780 円 (税込)

■展示ブース：生活道路対策の関連製品・パネル・資料の展示ブースを 12:30 から 17:30 までご用意しております。

■プログラム (案)

(講習タイトル及び講師は若干の変更がある場合もございますので、ご了承ください。)

生活道路対策の関連製品・パネル・資料を展示		12:30～
1. 総論 生活道路を安全快適にするための基本的考え方と、さらなる対策の必要性について述べます。また、この改訂の経緯とポイントについて紹介します。	久保田尚 (埼玉大学) 寺内義典 (国土館大学)	13:00～ 13:30
2. ゾーン 30 の推進について 警察における生活道路対策である「ゾーン 30」について、取り組みの内容や今後の展望について紹介します。	警察庁 交通局	13:30～ 14:00
3. 生活道路における交通安全対策 (1) 国土交通省における生活道路の「対策エリア」への支援、ビッグデータによる分析結果の提供などの技術支援を中心に紹介します。 (2) 「凸部、狭窄部及び屈曲部の設置に関する技術基準」について、その概要と物理的デバイスの導入における留意点を中心に解説します。	国土交通省 道路局 国土交通省 国土技術政策総合研究所	14:00～ 14:25 14:25～ 14:50
(休憩)		10 分
4. 改訂マニュアル解説		
第 1 部 ゾーン対策の進め方 対策の始め方から改善まで、改訂のポイントを中心に解説します。	伊藤将司 ((株)福山コンサルタント) 金子俊之 ((株)福山コンサルタント)	15:00～ 15:30
第 2 部 対策手法と留意点 対策のハードとソフトの両面から、改訂のポイントを中心に解説します。	小嶋文 (埼玉大学)	15:30～ 16:00
(休憩)		10 分
第 3 部 生活道路対策の事例 本マニュアルに掲載のある船橋市・新潟市の事例について紹介します。	新潟市	16:10～ 16:30
5. 質疑応答 この改訂マニュアル解説内容に加え、ゾーン 30 の取り組み、デバイスの考え方、実務上の課題など、フロアからのご質問におこたえします。	コーディネーター： 上野俊司 (国際航業(株)) 横山哲 ((株)ドーコン)	16:30～ 16:55

■お申込について：申込書はファックス又はメールにて手続き願います。メールでお申し込みされる場合は、下記参加申込書を参考に必要事項を記載の上、メールタイトルを「生活道路のゾーン対策講習会申込」とし eventzone@jste.or.jp 宛に送信ください。折り返し、当会より受講票及び請求書をお送りいたします。

※お申込後、本人が止むを得ない理由により参加できなくなった場合、又は参加者を変更される場合は、開催日の3日前までに必ずご連絡願います。



お申込・お問い合わせ：一般社団法人 交通工学研究会 <http://www.jste.or.jp/>

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 Tel. 050-5507-7153 Fax: 03-6410-8718

■製品・パンフレット・資料・パネル等展示ブース■

◆交通安全施設関連◆
株式会社キクテック 走行する車両の速度を測定し、制限速度内か否かをドライバーに知らせるゾーン30車両速度感知可変表示システムや、自発光式ゾーンパルス、自発光式ストップパルスの展示がございます。
シー・ティー・マシン株式会社 衝突等に配慮しソフトな材質で作られたソフトライジングボラードの展示がございます。
積水樹脂株式会社 自発光ソフトライジングボラードの展示や、路面表示、交通安全施設、物理的デバイス、サイン施設など、生活道路・通学路整備製品についてのパネル展示がございます。
日本ライナー株式会社 フレキシテック（サイン曲線を形状としたゴム製ハンプ）の展示がございます。本製品は、「凸部、狭窄部及び屈曲部の設置に関する技術基準」に適合した製品となります。
◆データ・シミュレーション関連◆
住友電工システムソリューション株式会社 一般車両プローブ情報を活用した、生活道路上の走行台数分布や速度分布をリンクごとに集計したデータ提供についての展示がございます。
バンプレコーダー株式会社 （フリックテック株式会社と共同出展） スマートフォンナビアプリから得たプローブ情報を活用し、生活道路の各地点、各時間の急ブレーキ箇所を割り出し、ゾーン30内の速度遵守状況、抜け道利用や急ブレーキ多発地点などの分析結果の提供サービスについて紹介がございます。
株式会社ビッツファクトリー 地区交通シミュレーションシステム「tiss-NET Cloud」の紹介がございます。データ作成からシミュレーション実行・評価・分析までをより容易に行うことができ、物理的デバイス設置評価機能がリリース予定です。
◆交通安全施設関連◆
ロードセーフティー株式会社 樹脂製道路鋸ヶズルリングのご紹介です。通学路や自転車専用道、道路センターラインや外側線への実績などのご紹介がございます。
◆データ・シミュレーション関連◆
株式会社エイテック 可搬型交通量計測装置 MOVTRA による速度計測・評価のご紹介です。凸部等の生活道路における交通安全対策の効果検証が可能です。
パシフィックコンサルタンツ株式会社 交通ビッグデータ（点群データ）を生活道路へマップマッチングさせるサービスの紹介がございます。

分類別、50音順。講習タイトルおよび講師・展示内容等の若干の変更がある場合もございますので、ご了承ください



東京会場 展示風景



生活道路のゾーン対策講習会

参加申込書

申込書はファックス又はメールにてお手続き願います。お申込書受領後、当会より受講票及び請求書をお送りいたします。

お申込後、本人が止むお得不い理由により参加できなくなった場合、又は参加者を変更される場合は開催日の3日前までに必ずご連絡願います。

生活道路のゾーン対策講習会 参加申込書

■ FAX: 03-6410-8718

勤務先住所 〒			
勤務先名称			
とりまとめご担当者TEL		FAX	
とりまとめご担当者 氏名 (参加者ご自身の場合は下記氏名欄に●印を追加願います)		請求書発行に関するご要望	
参加者氏名	所属部課名	会員区分	テキスト
氏名		特別会員・正会員 学生会員・一般	購入 する・しない
氏名		特別会員・正会員 学生会員・一般	購入 する・しない
氏名		特別会員・正会員 学生会員・一般	購入 する・しない
氏名		特別会員・正会員 学生会員・一般	購入 する・しない
氏名		特別会員・正会員 学生会員・一般	購入 する・しない
氏名		特別会員・正会員 学生会員・一般	購入 する・しない

メールでお申し込みされる場合

送信先アドレス: eventzone@jste.or.jp

Subject: 『生活道路のゾーン対策講習会 参加申込』と願います。

送信内容: 1. 参加者それぞれの情報

参加者氏名、ご所属・住所、 TEL、
会員区分、 参加地域、 テキスト購入「する・しない」

2. 複数のお申込みの場合、書類のお取りまとめ者
氏名、所属・住所、 TEL

お申し込み後の参加者氏名の変更

連絡先: eventzone@jste.or.jp 又は FAX 03-6410-8718

Subject: 『生活道路のゾーン対策講習会参加者氏名変更』と願います。

送信内容: 1. 請求番号 5*0*- ** *

2. 参加地域

3. 変更内容 変更前・変更後

4. この件についてのご担当者の連絡先





改訂 生活道路の ゾーン対策マニュアル

交通工学研究会 発行 丸善出版 発売 ISBN978-4-905990-86-4
平成 29 年 6 月発行 A4 版 223 頁 本体価格 3,500 円+税 会員価格 3,150 円+税

交通工学研究会では、1996 年「コミュニティ・ゾーン形成マニュアル」、2000 年「コミュニティ・ゾーン実践マニュアル」、2004 年「コミュニティ・ゾーンの評価と今後の地区交通安全」、そして、2011 年「生活道路のゾーン対策マニュアル」を出版し、対策の推進に努めてきました。このマニュアル出版からの 5 年間に、全国各地の皆様のご尽力により、生活道路対策における新たな制度が始まり、実践的な取り組みが数多くなされてきました。これを、より広く普及し、対策をさらに推進していくことを目指し、この 5 年間ににおける最新の制度・取り組み・知見を加筆した改訂マニュアルを出版いたしました。

改訂のポイントは、2011 年から行われている「ゾーン 30」の整備、そして 2016 年 3 月「凸部、狭窄部及び屈曲部の設置に関する技術基準」への完全対応です。技術基準への適合はもちろん、ライジングボラードや雪寒地域での対応など、新たな知見も導入しています。物理的デバイスを含めた対策実施に活用いただけます。通学路合同点検やビッグデータ活用なども加えて、大幅な見直しと追記しております。最新の事例も追加し、地区選定から手法選定に至るプロセスを、理論と実践から理解できるようにしております。

これからゾーン対策をはじめようとする地区にも、いまのゾーン 30 をさらにステップアップしていこうとする地区にも、この一冊で「基礎から実践まで」を網羅しています。最新情報を必要とする実務者の方にも、生活道路や通学路を守る市民の方にも、広くご一読いただきたい一冊です。

生活道路に関する検討小委員会 委員長 久保田 尚

-目次-

はじめに

第 I 部 ゾーン対策の進め方

- 1.1 ゾーン対策をはじめるところ 【ステップ 0】
- 1.2 地区の課題を知る 【ステップ 1】
- 1.3 対策を考える 【ステップ 2】
- 1.4 対策を実施する 【ステップ 3】
- 1.5 課題の解決を確認する 【ステップ 4】

第 II 部 対策手法と留意点

- 2.1 手法の種類と適用の考え方
- 2.2 主な手法の特徴と適用上の留意点
- 2.3 交通規制と物理的デバイスの主な組み合わせ事例
- 2.4 その他の留意点

第 III 部 生活道路対策の事例

3.生活道路対策の事例

- 3.1 生活道路のゾーン対策の取り組み事例
- 3.2 各種取り組みと生活道路対策

参考資料

索引

・改訂版のポイント・

はじめに…

- ・これから始めようという方、実務者の方、さまざまなお悩みにあわせて、このマニュアルをナビします。

第 I 部では…

- ・対策推進のステップごとに、調査、計画策定、対策実施、評価に維持管理と詳細に解説します。
- ・ゾーン 30、凸部等技術基準、ビッグデータなど、新たな情報を掲載しました。

第 II 部では…

- ・必要な交通規制を主としたソフト的手法を網羅しています。
最高速度 30km/h の区域規制、大型車等通行止め、歩行者用道路、一方通行、駐車禁止と駐車可、路側帯の設置・拡幅、一時停止規制と路面表示
- ・物理的デバイスは、凸部等技術基準に完全対応し、ライジングボラードなどの最新情報も掲載しています。
ハンブ、狭さく、シケイン、遮断、ライジングボラード
- ・留意点として「自転車通行」について内容を全面見直しし、新たに「物理的デバイスの看板・表示」「寒冷地、積雪地、積雪寒冷地における物理的デバイス設置時の留意点」を追加しました。

第 III 部では…

- ・掲載事例 3 地区を追加しました。
つくば市（要地区）、船橋市（坪井地区）、綾瀬市（寺尾釜田地区）、
- ・テーマ別の取り組み事例も追加しました。

☐ 書籍のご予約については下記サイトをご利用ください
発行 交通工学研究会 <http://www.jste.or.jp/>
発売 丸善出版（株） <http://pub.maruzen.co.jp/>